



種足小だより

NO. 4

令和4年7月1日

在籍児童数135名

子供と向き合う時間をつくるため、学校の働き方改革は待ったなし！

校長 青木 久永

梅雨の重たい雲を吹き飛ばすかのように、プールから子供たちの元気な声が聞こえてきます。あじさいが咲き、ニイニイゼミが鳴き始めると、本格的な夏の到来です。蒸し暑い雨の日も、毎朝の登校の見守りをしてくださり、いつもありがとうございます。

5月28日(土)、春季運動会を開催しました。5・6年生が中心となって、全力の競技や演技が繰り広げられました。地域・PTAの皆様には、テントの貸与、設営、片付け等の御協力ありがとうございました。噂には聞いていましたが、「さすが種足小だな」と感動しました。

6月11日(土)、第1回資源回収では、保護者・地域の皆様によくの御協力をいただきました。私も一緒に汗にまみれて作業し、高く積み上げられた古新聞や段ボールの山を見て、いつの時代も「たなだれっ子」は、こうして地域に支えられ育つのだなと実感しました。

また、6月には観光バスに乗って社会科見学に行きました。10日は4年生(埼玉県防災学習センター、鴻巣市観光会館「ひなの里」、埼玉県自然学習センター)、16日は3年生(東洋水産関東工場、北川辺郷土資料館、バストラルかぞ)、22日は6年生(国会議事堂、キッザニア東京)が、教室での座学では学ぶことができない貴重な体験をしました。本物を前にキラキラと目を輝かせている子供たちの表情は、知的好奇心に溢れ、真剣そのものでした。7月14日には、5年生が臨海学校(福島県いわき市・1泊2日)を訪れ、双葉町立双葉南・北小学校と交流します。

23日、第1回学校評議員会を実施しました。ICTを活用した授業視察の後、校長が学校経営方針、目指す学校像、家族・地域との絆を大切にしたい地域密着型教育、新型コロナウイルス対策、本校の課題と課題解決の方策、学校の働き方改革等についてプレゼンし、意見交換をしました。

学校の働き方改革に関しては、NHK番組『クローズアップ現代』において、「あなたの先生は大丈夫? 教師の過重労働その果てに何が」というタイトルで、教員の過重労働の実態が放映され、大きな反響を呼びました。

過重労働は本校も例外ではなく、「学校の働き方改革」は重要課題の一つです。具体的には、①授業準備に集中できる時間、子供と向き合う時間の不足、②超過勤務の常態化(本校の勤務時間8:00~16:30まで)、③小規模校ゆえ個々の分量が多い、④休暇取得が進みにくい、など多忙感解消・負担軽減が喫緊の課題となっています。学校現場は、休憩も取れないほど激務で、社会全体の働き方改革から完全に切り残されてしまっています。

文部科学省は、時間外在校等時間①月45時間以内、②年360時間以内など「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」を示しました。埼玉県教育委員会も「働き方改革を推進し、学校教育の質の維持向上」を目的に、「学校における働き方改革基本方針」(令和4年度~6年度)を定めています。

県教育委員会によれば、令和3年6月の教職員の時間外在校時間が45時間を超える割合は、小学校61.8%、中学校69.3%、80時間(いわゆる「過労死ライン」)を超える割合は、小学校12.5%、中学校25.7%であり、長時間勤務の改善が進まない実態が明らかになりました。

令和2年度、うつ病など精神疾患で休職した教職員は5180人。また、令和3年には「全国の公立学校1897校で、2558人の教員が不足」しています(文部科学省)。こうした実情を踏まえ、国は教員免許更新制度の廃止、中学校部活動における外部指導者の導入に舵を切りました。

しかしながら、全国的に教員志願者は減少し、本県でも「先生のなり手不足」が深刻です。「小学校の教員志願174人減で倍率1.9倍」(6月16日付、埼玉新聞)で、小中高の全校種で昨年度より減少。ブラックな労働環境がメディア等で取り上げられることも影響し、教員を志す学生が年々減っています。(もちろん、教員としての資質能力の高い学生や社会人が大部分です。)

本校では、①教職員の意識改革、②校務の見直し、③学校行事の精選、④会議の削減・効率化、⑤ICカードによる勤務時間の把握、⑥定時退勤の取組、⑦メンタルヘルスの推進に取り組んでいます。これらを学校評議員の皆様にご説明し、働き方改革への御理解と御協力を求めました。

特に⑥について、今年度は、毎週水曜日を「ノー残業デー」(1時間残務で17:30退勤)、毎月21日(休みの場合は直前の平日)を「ふれあいデー」(16:30定時退勤)と決めました。学校に御用件がある場合は、できるだけ「勤務時間内」にお願いいたします。

定時退勤は、極めて困難な課題です。業務量が多過ぎます。今のままの過酷な労働環境が続けば、優れた人材は集まらず、「学力向上」をはじめ学校教育全体の質の維持向上は望めません。これまでの「学校の当たり前」は、教員の献身的な使命感と自己(家族)犠牲の精神の上に成り立っているのです。

それで不利益を被るのは誰でしょうか? それは間違いなく子供たちです。学校の働き方改革を推進することで、教員に子供たちと向き合う時間(わかる・楽しい授業をするための授業準備等)や心の余裕が生まれ、より豊かで充実した教育活動を展開することができます。

「教育は未来への投資」です。子供たちの輝く未来のために、学校の業務削減と時間短縮を図ります。子供たちの指導に教員が専念できるようにするために、保護者や地域の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。7月21日からは、子供たちが楽しみにしている夏休みがいよいよ始まります。皆様におかれましては、熱中症にならないよう、お体御自愛ください。

3・4・6年生…社会科見学に行ってきました。



6月10日(金)、4年生が埼玉県防災学習センター、鴻巣市産業観光館「ひなの里」、埼玉県自然学習センターに行きました。見学を通して、防災意識や日本の伝統、自然への興味・関心を高めることができました。



6月16日(木)、3年生が東洋水産関東工場、北川辺郷土資料館、パストラルかぞに行ってきました。工場では働く人々の工夫や努力を学び、資料館では昔の道具に触れ、パストラルかぞでは、舞台裏を見学しました。



6月22日(水)6年生が国会議事堂とキッザニア東京に行ってきました。国会議事堂では、本物を目の当たりにし、感動していました。キッザニア東京では、自分で選んだ職業を体験し、楽しく学習できました。

水泳学習が始まりました。



3年ぶりの水泳学習に始めは緊張しながらも、慣れてくると楽しくて仕方ない様子で学習していました。久しぶりなので、水慣れからクロールなどの泳法まで一つ一つ丁寧に指導しています。

資源回収では大変お世話になりました。



6月11日(土)、PTA 第1回資源回収を行い、たくさんの新聞紙、雑誌、段ボールなどを集めることができました。回収や仕分け、資源の提供等での皆様のたくさんの御協力に感謝申し上げます。

宿泊学習のお知らせ

【臨海学校】5年生
7/14(木)・15日(金) 福島県いわき市方面
※福島県双葉町立双葉南・北小学校との合同宿泊学習を行います。
【修学旅行】6年生
9/14(水)・15日(木) 鎌倉・箱根方面



個人面談お世話になります

家庭及び学校での子供たちの様子を情報交換し、一人一人の個を大切に2学期からの指導に生かしてまいりますと考えております。15分という短い時間ではありますが、有意義な時間となりますよう御協力お願いします。

7月の主な行事予定

日	曜	行 事 等
1	金	一斉漢字テスト、学年末PTA、第1回学校保健委員会、第3回PTA役員会
2	土	
3	日	
4	月	委員会活動
5	火	6年「なるほど古墳授業」、6年研究授業(国語)、1回目学級費等口座引落し
6	水	B日課5時間授業、あいさつ運動(加須警察署少年補導員)7:20
7	木	B日課5時間授業
8	金	〃
9	土	
10	日	
11	月	そうじ Week、一斉下校(こども110番の家訪問)
12	火	B日課5時間授業、安全パトロール
13	水	
14	木	5年臨海学校①
15	金	5年臨海学校②、2回目学級費等口座引落し
16	土	
17	日	
18	月	海の日
19	火	給食終了 大掃除 一斉下校
20	水	第1学期終業式 一斉下校
21	木	夏季休業日、教育相談Week(個人面談)①
22	金	教育相談 Week(個人面談)②
23	土	
24	日	
25	月	教育相談 Week(個人面談)③
26	火	
27	水	教育相談 Week(個人面談)④
28	木	教育相談 Week(個人面談)⑤、SC来校

8・9月の主な行事

- 8/20(土) PTA親子除草 ※21日(日)予備日
- 29(月) 第2学期始業式、一斉下校
- 30(火)～31(水) 3時間授業 一斉下校
- 9/ 1(木) 給食開始、たねと班遊び
- 2(金) 身体測定、修学旅行説明会
- 3(土) 樹木消毒(午前) ※4(日)予備日
- 5(金) 委員会活動
- 6(月) 東部教育事務所学力向上・教育支援担当訪問
- 12(火) クラブ活動
- 14(水)～15(木) 6年修学旅行
- 26(月) 3・4年「風の子」のワークショップ、職員会議
- 28(水) 5年社会科見学

熱中症対策 マスクの着脱、メリハリつけて

夏場は熱中症を予防することが大切です。登下校や運動中は、人との距離を十分にとり、会話を控えて、マスクを外すよう声掛けをお願いします。